

小笠原敏夫先生を悼む

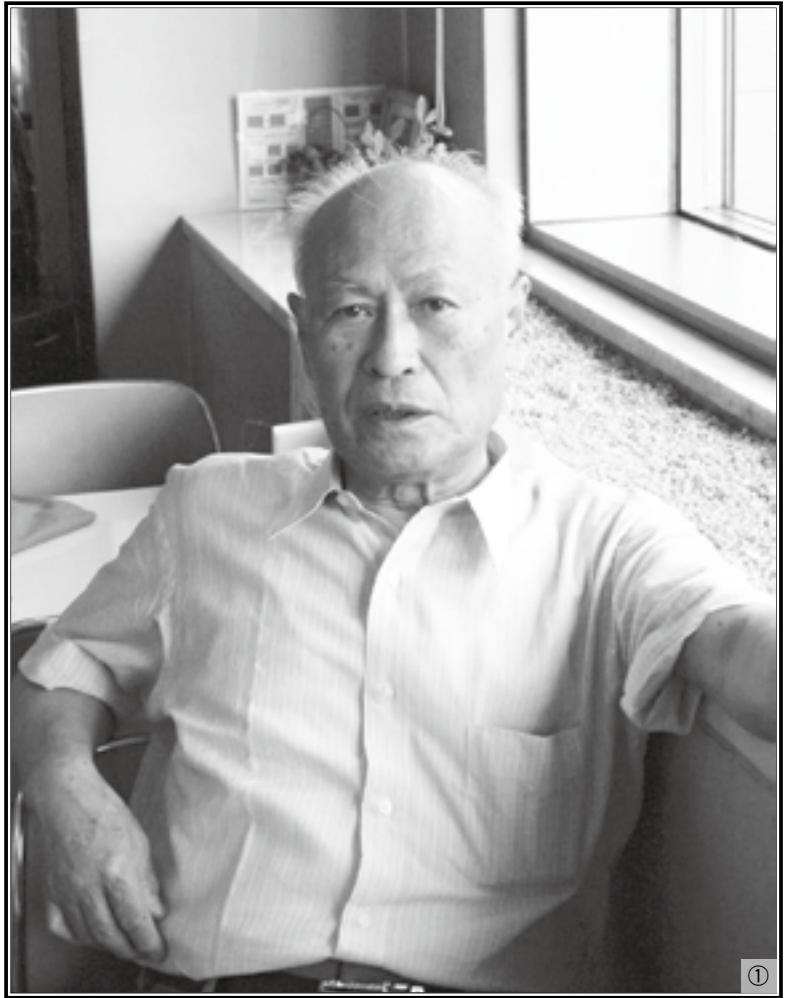
会員のために できることを 常に考え行動する

今年9月21日、長年にわたり保険医運動と協会の発展、特に協会歯科部会の創設期から歯科会員2千名超の発展とともに歩み、協会活動に一生を捧げた小笠原敏夫先生（横浜市緑区・歯科）が永眠されました。享年96歳。

歯科の差額問題から低診療報酬問題の改善運動、歯科会員の世話役、社会保障論に基づく保険医運動の理念と使命など、穏やかに、時に力強く、江戸っ子調で語られる姿は、今も多くの協会会員が思い出されることでしょう。

「歯科部会員として、協会理事、監事の一人として、会員のためにできることを常に考え、行動することを第一にしてきました。入会から今日まで、この考えはいささかなりとも揺らいだことはありません」——協会60年史の発刊によせて小笠原先生が語られた一文です。

小笠原先生の生前のご尽力に深く感謝するとともに、先生の安らかなるご冥福をお祈りいたします。



①

小笠原敏夫先生を偲んで

理事長 田辺 由紀夫

私が理事として理事会等 された年だ。その後、理事、副理事長、監事と役員を務めた頃、小笠原先生はすでに監事となられ、理事会での議論を俯瞰して発言する立場でいらした。理事会での議論が盛り上がりすぎるときには、発破をかけるべく、厳しい言葉を発せられることもあったと記憶している。

私が理事として理事会等 された年だ。その後、理事、副理事長、監事と役員を務めた頃、小笠原先生はすでに監事となられ、理事会での議論を俯瞰して発言する立場でいらした。理事会での議論が盛り上がりすぎるときには、発破をかけるべく、厳しい言葉を発せられることもあったと記憶している。

年の離れた同志

保団連副会長 宇佐美 宏

先生が神奈川県保険医協会に入会された1970年は、協会に歯科部会が創設

小笠原先生の訃報に 時代での御様子は存知 接したときは、驚きを 上げていきましたが、あ の保守色の濃い大学で の学生生活は、先生の 思想・信条からいって、 かなり厳しく覚悟のい るものであったことは 想像に難くありません。 「おお、宇佐美元氣か。」 と言って握手してくれ たあのごつい手の力強 さと先生の死とがなか なか結びつかなかった からです。

私と先生とは、日本 大学の同窓で、後輩の 私をよく気遣ってくれ ました。同窓とはいっ ても一廻り近く年齢が 違つので、先生の大学 時代での御様子は存知 接したときは、驚きを 上げていきましたが、あ の保守色の濃い大学で の学生生活は、先生の 思想・信条からいって、 かなり厳しく覚悟のい るものであったことは 想像に難くありません。 「おお、宇佐美元氣か。」 と言って握手してくれ たあのごつい手の力強 さと先生の死とがなか なか結びつかなかった からです。

私と先生とは、日本 大学の同窓で、後輩の 私をよく気遣ってくれ ました。同窓とはいっ ても一廻り近く年齢が 違つので、先生の大学 時代での御様子は存知 接したときは、驚きを 上げていきましたが、あ の保守色の濃い大学で の学生生活は、先生の 思想・信条からいって、 かなり厳しく覚悟のい るものであったことは 想像に難くありません。 「おお、宇佐美元氣か。」 と言って握手してくれ たあのごつい手の力強 さと先生の死とがなか なか結びつかなかった からです。

はじめて先生と 接触したのは、保 団連の「歯科協議 会」であったと記 憶しています。四 十年以上のお付き 合ひ、ということ になります。まさ に光陰矢の如しで すね。「歯科協議



②



③